

今年のクリスマスは、特別なクリスマス
<大震災で被災された子どもたちへ、慰めと励ましのメッセージ>

「クリスマスカード」を被災地に届けよう！

～ 世界中の友達から、被災地の子どもたちへ～

Xmas cards from friends around the world

送り先住所：

〒985-0802

**宮城県 七ヶ浜町吉田浜 字野山 5-9
七ヶ浜町 災害ボランティアセンター
星 真由美 様 宛
少年少女達へ**

宮城県七ヶ浜町では、大津波で全ての家財を波に持っていかれてしまい、今も非常に厳しい状況の中、仮設住宅などで生活されている方々が多くいます。また、近親の犠牲者に対する深い鎮魂の想いで新しい年を迎えようとしている方も多くいます。

子供たちも元気に頑張っていますが、心の中に辛い思いをいっぱい抱えており、厳しい寒さの季節が巡ってくると、あの悲惨な悪夢が再び子どもの心を襲わないか、非常に心配しています。

今、被災地では、深く傷ついた心の癒しと慰め、生きる力への励ましが、一番大切な課題になっています。日本中、さらに世界中の人々の暖かい想いで包みこみ、若い被災者の心を暖め続けることが、明日への心の再生にむけてますます重要になってくると思います。

私たちは、少しでも被災者の心の慰めになればと願って、宮城県七ヶ浜町の国際村ホール（当時400人近くの避難所）で、被災者と災害ボランティアなどの方々をお迎えして、「クリスマスに被災者とともに復興を願うコンサート」を開催することになりました。ピアニスト畠千春の、華やかな中に優しく透明感のある美しいピアノの調べが、ひと時心の疲れを癒し、悲しみを乗り越え、明日の復興に向けて大きな力になるように願っています。

今年のクリスマスは、被災地の子どもたちにとっては、特別なクリスマスです。

当日会場には行けないが「クリスマスカード」の言葉で参加したい、という声が多く寄せられ、国内を含め世界中の仲間から被災地の子どもたちへ、慰めと励ましの「クリスマスカード」が届くように、暖かい絆で結ばれた「虹の架け橋」をかけようとしています。

地域社会の新しい未来を創る子どもたちに、みなさんからの心こもるメッセージを届け、深く傷ついた心を暖めることができたらと願っています。

3月、「東北がんばれ！」の強い祈りのもと、世界中の人々から、また、日本中の人々から、多くの励ましの言葉や義捐物資が届けられましたが、今一度、この暖かい愛の絆を深めていただけないでしょうか。

届いた美しい「クリスマスカード」は、被災した子どもたちにとって、きっと大きな大きな喜びになり、悲しみを乗り越えて新しい年の復興へ向かう、大きな力になると信じております。

カードの管理および配布については、現地の震災ボランティアセンターと相談しながら慎重に取り扱います。

もしご賛同頂ける方がいらっしゃいましたら、励ましの言葉とともにクリスマスカードを送って頂ければと思います。

上記の住所でカードをお待ちしています。

みなさまの暖かいご協力に心より感謝します。

「畠千春ピアノリサイタル・プロジェクト」

代表 中央大学名誉教授 田中拓男

(スタッフ：田中絵里子、兔原智子、伊藤美恵、守谷佳代子)

「畠千春 ピアノリサイタル」(入場無料)

日時：2011年12月16日(金)夜

場所：七ヶ浜国際村ホール(宮城県)

～大作曲家ラヴェルの孫弟子と七ヶ浜の子供たちとともに～

(英文)

〒985-0802
NOYAMA 5-9, YOSHIDAHAMA
SHICHIGAHAMA-CHO
MIYAGI-PREF. JAPAN
SHICHIGAHAMA-CHO Saigai-Volunteer Center
Mrs. MAYUMI HOSHI
(TO BOYS & GIRLS)

「 HATA CHIHARU PIANO RECITAL・PROJECT 」

(代表：中央大学名誉教授 田中拓男)

“ CHIHARU HATA Christmas Concert ”

16th. Dec. 2011

七ヶ浜国際村ホール

at SHICHIGAHAMA KOKUSAIMURA HALL

「英文の依頼書」

To my friends overseas,

If you have a pen, paper and a little time for children in Tohoku(where the earthquake happened), please write a christmas card to them!

The professor emeritus of CHUO university starts this project 'Xmas cards from friends around the world'. The letters from other countries will cheer them up surely. Thanks for your coop.

Name&Address:

... TO Mrs. MAYUMI HOSHI
SHICHIGAHAMA-CHO Saigai-Volunteer Center
NOYAMA 5-9, YOSHIDAHAMA
SHICHIGAHAMA-CHO
MIYAGI-PREF. JAPAN 985-0802

こんなイベントです

「地域に根差し世界に開かれた」心で 復興に向けて「三本の矢」を束ねる

●ピアニスト紹介 (チラシの「プロフィール」参照)

イベントは、ピアニスト畠千春の被災者に対する強い思い入れからスタートしました。“自分のピアノの調べで、なんとか被災者を癒し励ましたい”。

来る正月には、東京文化会館で「復興を願うピアノリサイタル」があり、その前に被災地で直接演奏できる機会を探していました。

今年のクリスマスは、特別なクリスマス、大震災で犠牲になられた人々を悼んで、世界中で鎮魂のミサ曲が演奏されると思います。ピアニスト畠千春は、フランスの大作曲家ラヴェルの孫弟子にあたりますが、鎮魂ミサ曲「レクイエム」の作曲者フォーレの下で長年一緒に演奏活動を続けていた先生からも、直接親しく指導を受けられた孫弟子です。パリなどで活躍されていましたが、帰国後は、家庭の事情による長い休止の後、各地で演奏会を再開されており、コルトーの愛弟子たちから受け継いだ美しい音と確かな構成に定評があります。世界の大御所たちの中で磨かれた畠千春は、演奏だけでなくその人柄も非常に温かく純粋で、長い休み中も病院や福祉関係の人々を訪問し、慰問演奏を続けていました。

●イベントの基本的な考え

イベントは、「地域に根差し、世界に開かれた」精神、すなわち、家族、近隣、さらに、地域コミュニティの人々の間で、共感・協働・相互扶助の絆をいっそう深く太くしていきながら、同時に、外部の世界にも自由に柔軟に開かれ、日本の他の地域の人々、さらに、世界中の人々との強い友情の絆を大切にしていって、そういう基本理念にたっています。

具体的には、「復興に向けた三本の矢」の集まりを目指しています。すなわち、被災地の人々、支援する国内の仲間（災害ボランティアなど）、日本を支援する世界中の仲間、この「三本の矢」を束ねて一同に会し、悲しみを乗り越えて復興の来年を迎えられるように、共にクリスマスの祈りを捧げる場になることを期待しています。

●被災地のみなさん（宮城）をコンサートに無料招待します。

大震災の年の暮れ、特別なクリスマスの祈りをともにしたいと願っています。被災地の子どもたちには、この大変な時に、地域にしっかりと根差す人材として大きく成長して欲しいと願っています。世界の優れた音楽を生で聴き、

世界からの暖かい励ましの言葉（クリスマスカード）に接することで、希望の未来に向けて、「世界に開かれた豊かな心」が育つきっかけになると期待しています。

● 復興を支援する人々（特に災害ボランティア関係者など）を無料招待します

被災地に入って非常にハードな仕事をされてきた災害ボランティアの方々に、心よりお礼を申し上げます。彼らは被災地の「宝」とも呼ばれておりますが、復興の来年に向けて被災者とともに過ごすクリスマスのひと時、美しいピアノの調べを聴きながら、ともに鎮魂と復興への祈りを捧げたいと思います。県や地元の福祉協議会、災害ボランティア関係機関だけでなく、大規模、かつ、継続的に活躍されている「全国大学生生活協同組合連合会」や「東北学院大学災害ボランティアステーション」（年末の大学災害ボランティア関係者の全国大会開催校）にも後援を受けています。

また、日本中の各地から被災地の子どもたちにたくさんの美しい「クリスマスカード」、暖かい励ましの言葉が届けられます。3月の義捐活動以来、特に何もできないことに内心辛い思いをしていたが、クリスマスにこうして被災地との絆を新たにできることに感謝したい、という声が数多く寄せられています

● 日本を支援する世界中の人々から、「クリスマスカード」が届きます

アジア、アメリカ、ヨーロッパの各国から、特に親日的なハンガリーの子どもたちから、被災者を勇気づける励ましの「カード」が多数寄せられることになっています。被災者支援の大きな「虹の架け橋」をかけようと、日本中・世界中の仲間呼びかけしており、遠くから被災者の心に寄り添うように、会場にカードが届けられます。

● イベントは、16組織の後援に支えられています

仙台市内のほとんどのテレビや新聞社から後援を受けており、中央大学学生会宮城支部の諸先輩にも特別なご協力をいただいています。畠千春の母校、桐朋学園大学音楽部門同窓会の後援にも感謝します。

「畠千春ピアノリサイタル・プロジェクト」代表
中央大学名誉教授 田中拓男

TEL : 070-6528-4348
e-mail : save-children10@pdx.ne.jp

問い合わせ連絡先：田中絵里子

e-mail : windygrassvalleysky@wm.pdx.ne.jp tel : 070-5550-5414